

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校学校特殊建築物定期報告委託事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	03	01	03
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	建築基準法に基づく特殊建築物に該当する校舎の定期報告
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく特殊建築物の建物、設備の定期報告に係る調査 特定行政庁への定期報告の提出 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づき、建物は3年毎、設備は毎年報告 本事業を活用し、施設整備の改修、改善を実施している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	要是正校数（建築設備）	8	8	8	
②	要是正校数（建物） *3年毎	0	8	0	校	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・本事業は、校舎改修事業や大規模改造事業等の基礎資料となっている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,309,010	1,813,280	1,100,784			
事業費(b)(円)		1,239,140	1,675,080	950,184			
うち一般財源		1,239,140	1,675,080	950,184			
職員給与費(c)(円)		69,870	138,200	150,600			
人役・職員(人)		0.01	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	単なる報告業務にとどまらず、施設の適正保全のための視点からも調査を行うことにより、施設の保全に寄与する。
②今年度(H27)に実施した取組	定期報告の内容を基に施設や設備の現状を把握し、改修や更新計画策定の基礎資料とした。

③取組の課題	特になし
④今後の改善計画	特になし